

# 地域再犯防止推進モデル事業成果報告書

## **1 事業実施団体名**

盛岡市

## **2 事業名称**

盛岡市地域再犯防止推進モデル事業

## **3 事業の目的**

本市の地域福祉計画の基本理念である「共に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現」に向け、犯罪をした人が罪を償い、社会復帰した際に、地域住民の一人として暮らすことができるよう、矯正施設や保護観察所、更生保護関係団体等の機関と連携して、包括的な支援体制を構築することで、地域住民一人ひとりが共に安心して暮らせることを目的とする。

## **4 事業実施の背景**

全国及び岩手県の刑法犯検挙者の状況を見ると減少傾向にあり、うち再犯者数についても同様に減少を続けているが、再犯者率については増加傾向にある。

本市における刑法犯検挙者に関する資料は無いが、本市も岩手県および全国と同様の状況にあると推測される。

国の再犯防止推進計画によると、犯罪をした人の生活基盤が脆弱な場合、再犯率が高いことが指摘されており、特に「就労」、「住居」の確保が重要である。

このことから、既存の支援制度を組み合わせたり、新たな支援先を開拓したりすることなどにより、支援を受けられずにいた人を対象とした新たな支援の枠組みを広げるよう取り組んでいく必要がある。

そのためにも、これまで連携していなかった福祉関係機関、刑事司法機関及び民間事業者など多様な主体が有機的に結び付いて支援を行うような体制が求められている。

## **5 取組実績**

### **■ 取組内容①**

再犯防止の推進に関する取組に対する理解を得ることを目的に、市民向けのフォーラムを開催し、再犯防止に造詣の深い方の基調講演を主体として、様々な支援機関の取組を紹介することとする。

また、福祉事業所に対し、犯罪をした人の新たな居場所又は、就労先として開拓するため、刑事司法機関や更生保護関係団体、地域生活定着支援センターや居場所づくりを先進的に実施されている方を講師として、社会福祉法人・社会福祉事業所向けの研修会を開催し、犯罪をした人の受入先の確保を図る。

事業実施主体：盛岡市

活動指標	単位	区分	H30	R1	R2
市民向けフォーラム及び研修会の開催	回	目標	1	3	—
		実績	1	4	—
フォーラム参加者	人	目標	500	500	—
		実績	555	272	—
研修参加者	人	目標	—	60	—
		実績	—	100	—

■ 取組内容②

刑事司法機関等の依頼に基づき、犯罪をした人のうち、福祉的支援が必要と思われる人を、地域福祉課がコーディネーターとなり、適切な支援に繋げ、就労場所以外の居場所づくり・関係づくりが本人の更生支援に資すると考えられる対象者について、更生保護関係団体等の民間団体の協力を得ながら、本人が求める支援を継続的に実施し、自立した生活を行える能力を身に付けさせる。

事業実施主体：盛岡市

活動指標	単位	区分	H30	R1	R2
福祉的支援の実施	人	目標	—	4	4
		実績	—	4	1
居場所づくり支援の実施	人	目標	—	4	4
		実績	—	0	0

■ 取組内容③

本市における再犯防止への取組推進のため、関係機関・団体による協議会を設立し、再犯防止施策を効果的に行うための有機的な連携・支援体制の仕組みづくりを検討し、併せて犯罪をした人への効果的な支援策の検討、意見交換を行う。

また、地方再犯防止推進計画の策定にあたり、計画策定委員会として専門的な知見から助言、提言をもらう。

事業実施主体：盛岡市

活動指標	単位	区分	H30	H31	H32
再犯防止推進協議会開催回数	回	目標	3	4	2
		実績	3	3	3

## 6 成果

### (1) 成果目標達成状況

成果指標	単位	区分	H30	R1	R2
「居場所づくり支援」に協力する更生保護法人及び社会福祉法人の数	法人	目標	2	5	10
		実績	0	8	8
フォーラム等の周知活動に参加した方のうち、「犯罪をした人」の立ち直りに協力したいと考える数	人	目標	284	400	500
		実績	284	424	424
「犯罪をした人」が地域生活に定着するために必要な支援を実施する人数	人	目標	—	4	8
		実績	0	4	5
犯罪をした人を職員として採用したいと考える事業所数	事業所	目標	0	2	5
		実績	0	9	9
研修参加者のうち、再犯防止に継続的に取り組みたいと考える人	人	目標	—	20	20
		実績	—	5	5

#### ※ 成果指標設定理由

成果指標①：犯罪をした人に対する地域の理解と居場所づくりが、再犯防止に効果的と考えられるため、平成32年度(2020年度)までに、「居場所づくり支援」に協力する社会福祉事業者を現在の2法人から10法人に増加させる。

成果指標②：援の受け皿として社会資源を確立した後、実際の対象者のニーズに合った支援を実施する。それに伴い、更生保護団体等関係機関と対象者が漏れることがない支援フローを共有する。

成果指標③：再犯防止の啓発活動に力を入れて、市民の理解者を大幅に増やす。

### (2) 成果指標以外の成果

#### (3) 最終成果物

平成30年度に実施した実態調査の分析結果を踏まえ、令和元年度に実施したモデル事業内容の効果を検証して、本市の「盛岡市第2期地域福祉計画」とも整合した内容の「盛岡市再犯防止推進計画」を令和3年3月に策定する。

なお、作成にあたっては、盛岡市再犯防止推進会議からの提言を踏まえたものとするほか、市民フォーラムのアンケートやパブリックコメント等により寄せられた

意見も可能な限り反映させた計画とする。

## 7 効果検証実施結果

### (1) 効果検証実施方法

ア 2回開催したフォーラムにおけるアンケート調査内容について分析する。分析の方法としては、各属性における協力可能な内容、又は協力出来ない理由を分析し、再犯防止推進計画における市民の役割に反映させる。また、周知方法の分析として広報媒体、フォーラム内容で興味を引いたプログラムを分析し、今後の広報・啓発活動の参考とする。

イ 社会福祉施設研修会におけるアンケート調査内容について分析する。各項目の事業所等をリスト化し、協力における条件等を整備する。整備したリストに基づき、対象者ニーズにより事業所等とのマッチングを行う。

ウ 対象者支援の実施において、生活の基盤が安定した者のうち居場所での活動を希望する者に対して、モデル事業において新たに創出した居場所及び既存の居場所をマッチングし、継続して活動する者と受け入れた居場所運営団体にヒアリング調査を行い、マッチング方法やフォローアップ等について分析する。

また、矯正施設からの対象者支援の要請を受けるフローを確立するとともに、対象者支援のロールモデルを構築する。検証については、矯正施設及び支援関係機関へのヒアリングを実施し、切れ目のない支援体制を構築する。

### (2) 効果検証実施結果

ア フォーラムのアンケートによると、78.4%（回答者 541 人）が犯罪をした人の立ち直りに協力したいと考えている。参加者には保護司や民生児童委員等日頃から支援者として活動している方も多かったことから、高い割合を示したものと推察される。協力可能なものとして 43.4%が広報・啓発活動への参加、協力が一番多く、協力への負担が少ないことから選ばれたものである。一方、協力に否定的な人（141 人）のうち 49.6%がどのように接したらよいかわからないことを理由に挙げている。つまり、地域における見守りや社会での受入れの方法に関する広報活動を今後重点項目とすることで、犯罪をした人への協力に否定的な人の半数を協力的な人に転換することが可能である。

イ 犯罪をした人を職員として採用が可能と回答した事業所 8 のうち 6 事業所（38.1%）については、介護福祉科の修了者を希望するとのもので、改めて介護業界における人手不足を感じられた。参加事業所は 40 事業所だったことから、対象事業所を増やせば、需要は相当数あると推察される。ただ、参加事業所からは、既に犯罪をした人を職員として採用している福祉施設の現場の声や、採用された犯罪をした者の話しを聞いたかったとの声が多かった。

そのため、コレワーク東北と協働で令和 3 年度以降に福祉施設向けの研修会を継続的に開催し、協力雇用主の登録の増加を図りたい。内容としては、雇用する際の具体的な手続き方法の紹介や、既に犯罪をした人を採用している施設の職員により講話を実施したいと思う。

ウ 対象者の支援についてであるが、支援した 5 件全てで金銭面の早急な解決が必要であったことから、生活保護を受給し、生活の安定を図り、就労先を確保し、生活保護を脱却した後に、趣味や地域の居場所を提供することを考えていた。支援 5 件のうち、就労までたどり着いたのが 2 件、生活の安定が図られたのが 2 件、

住居の確保が完了したのが1件という結果となった。就労した2件のうち1件は、居場所の提供を希望していたが、就労が安定した頃に新型コロナウイルス感染症が全国で蔓延したことから、居場所活動が軒並み中止となってしまう、マッチングをすることができなかった。

居場所の主催者に確認したところ、本人が参加したいとい気持ちがあれば犯罪をした過去については、気にならないとのことであった。今後は、厚生労働省の「重層的支援体制整備事業」の「参加支援事業」を活用し、居場所等社会のつながりを必要とする対象者へのマッチングを実施したいと考えている。

## **8 他の地方公共団体が事業を実施する上での参考事項**